

図書館だより

2018年11月号

11月28日(水)発行
宇和高校図書委員会

「新書」を味方につけよう！

「新書」を知っていますか？新しく出た本のことではないですよ。サイズが文庫本よりも少し縦長の書籍のことです。図書館の中央棚、窓側棚に集まっているシンプルで細長い本たちです。これらの新書は、小論文や集団討論に取り組む人の強い後押しになってくれるとか。尾崎先生に新書についてインタビューをしました。

新書がお勧めの理由を教えてください。



図書委員



尾崎先生

文庫本は小説が中心ですが、新書は評論が中心だからです。評論に触れる機会が増えます

新書は難しいイメージがあります。先生はどんなイメージを持っていますか？



著者に文化人や大学の先生等が多いので堅苦しいイメージがあるのだと思います。でも、最近では芸能人が書いた新書もあり、昔よりは読みやすくなったのではないかと思います。

新書はどのように役立ちますか？



受験に役立ちます。新しい知識を身に付けたり小説とは違う文体に触れたりすることができます。

オススメの新書を教えてください



『天才になりたい (山崎亮太 著)』『「世間」とは何か (阿部謹也 著)』です。

作文や評論文に悪戦苦闘する宇和高生に一言！



世の中の出来事に興味を持ち、疑問を抱くこと。自分の意見をしっかり持っていないと小論文は書けません。3年生になってからでは遅いので、1・2年の時から新聞やニュースを見ること。考える力を身に付けましょう。



新書のコーナーはココ 
新しい新書も入りました！

『何のために「学ぶ」のか』

『考える方法』

『科学は未来をひらく』

『生き抜く力を身につける』

『はじめての哲学的思考』

『文系？理系？』

『弱虫でいいんだよ』

『歴史に「何を」学ぶのか』

『地図で読む「国際関係」入門』

『高校生からのゲーム理論』

『就活のまえに』

『先生はえらい』

『植物はなぜ動かないのか』

『世界一美しい人体の教科書』

『看護師という生き方』

『西洋美術史入門』

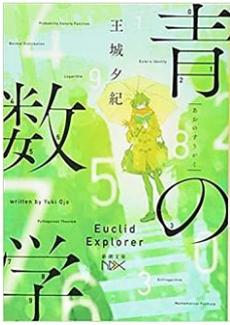
『打倒！センター試験の現代文』

『英語は多読が一番！』

『人はなぜ物語を求めるのか』

この他多数あり！図書館に来て是非確認してください。

★新着図書案内☆



王城夕紀 『青の数学 1巻 2巻』

数学の楽しさを思い出させてくれた本です。数学は解けるのが楽しくてどんどん解いていました。なお、この本には数式はほぼ出てきませんので物語を純粋に楽しんでもらえたらと思います。

安永先生イチオシ



数学をテーマとした新着図書の紹介をしていただきました

イアン・スチュアート 『数学の秘密の本棚』

数学に関する話を集めた短編集です。数学のパズルやゲーム、数学史や数学者のエピソード、マスコミで話題になったものなどについて紹介された本です。どこから読んでも楽しめますので、興味が沸いたところだけ読んでもいいし、普通に順番に読み進めてもいいようになっています。できるだけ数式を使わないように書いてくれています。



渡辺健介『自分の答えのつくりかた』

本郷和人 監修『東大教授がおしえる やばい日本史』

大野正人『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった！』

長尾彰『宇宙兄弟「完璧なリーダー」は、もういない。』

新井文彦『きのこのき』 今泉忠明 監修『わけあって絶滅しました』

ヨシムラマリ+トヨオカアキヒコ『文房具の解剖図鑑』

今泉マユ子『もしもごはん』 なかしましほ『まいにちおやつ』

猪谷千香『町の未来をこの手でつくる紫波町オガールプロジェクト』

西田栄喜『小さい農業で稼ぐコツ』 山森めぐみ『いつだってごはんのこと。』

西原理恵子『毎日かあさん 13』『毎日かあさん 14』

小栗左多里&トニー・ラズロ『ダーリンの手仕事にっぽん』『めづめづ和文化研究所京都』

額賀滯『風に恋う』『拝啓、本が売れません』

是枝裕和『万引き家族』 池井戸潤『下町ロケット ヤタガラス』『下町ロケット ゴースト』

湊かなえ『ブロードキャスト』 岩城けい『Matt』 宇佐美まこと『少女たちは夜歩く』

逸木裕『虹を待つ彼女』 川口俊和『思い出が消えないうちに』

「昭和」をテーマにした今回の特集コーナーを見ましたか？図書委員が様々なテーマで本を紹介しています。定期的に変わるので見に来てください。

考査中は15時まで図書館は開館しています。本を借りるだけでなく、勉強などに利用してみてください。

(図書委員 R・K S・O H・U H・I)

